



昔使われていた懐かしい
もしもし券売機「かえる君」
この機械の後継タイプ

「話せる指定席券売機」 7月1日から

こくろう秋田

東能代駅の「みどりの窓口」 廃止提案

4月20日、秋田支社は「東能代駅のみどりの窓口廃止」提案をしました。

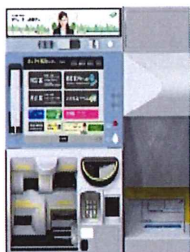
団体交渉には国労秋田 地本宮崎業務部長を始め4名で臨みました。

提案は7月1日から東能代駅のみどりの窓口を廃止し、「話せる指定席券売機」を設置するといふもの。要員は2名減。

「話せる券売機」はMV50にオペレーター機能を追加したものです。昔使われていたもしもし券売機「かえる君」と違い、必要な時、分からない時

にオペレーターを呼び出せるという事でしたが、「みどりの窓口」よりは対面式でないためサービスが低下するのは間違いありません。割引証はオペレーターがカメラで確認し投入へ入れてもらう方式で、団体乗車券、

レール&レンタカー切符、イベント券は発券出来ません。今春のダイヤ改正から常磐線の5駅に導入されています。



トラベルウォッチ
HPより

国鉄労働組合
秋田地方本部

秋田市中通
7-2-21
☎018-832-3775

発行責任者
佐藤浩一

編集責任者
編集部

コロナ対策に問題は無いが 現場からの点検が必要

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。政府が4月7日に感染が多発している7都府県に「緊急事態宣言」が出て、その後宣言は全国にも広がられました。

JR東日本も「新型コロナウイルス感染拡大に向けた対応策」として、必要最小限の要員を確保し、現業では日勤の「自宅待機」が始まっています。感染対策は非常に大切ですが、働く社員にとってこの制度によって不都合がないように点検していく事が重要です。問題点があったら分会役員、地本へ連絡ください。必要に応じて「申」を出して団体交渉をしていきます。

